

地域発 元気づくり支援金 令和3年度実施事業検証一覧表

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
1	向日葵油の生産及びこれを利用した製品の開発、生産事業	平谷向日葵しとねる会(平谷村)	平谷村の観光資源である向日葵から採れる種子や油を活用した特産品開発、観光振興に取り組んだ。 ・住民協働で向日葵を育て油を採取し、成分分析を行った上で、商品化に向け、ラベルや油を利用したドレッシング等の開発を検討 ・向日葵の開花時期に合わせて向日葵祭りを開催  ①種、肥料、搾油、成分分析等	609	486	平谷村の観光資源である向日葵から採れる種子や油を活用した特産品開発、観光振興に取り組んだ。事業の自立・継続に向け、収益化や資金の確保に取り組むことを期待する。
2	うるぎ米うるぎ対策パート3事業	売木村	若いターン農業者の移住促進及び「うるぎ米」のブランド化を進めるため、高品質な精米機を道の駅に導入した。 ・精米機の購入及び設置 ・精米機の使い方講習会を開催 ・精米したうるぎ米を各イベントやふるさと納税にて提供  ①米袋代 ②精米機設置費用	4,613	3,080	精米機を整備するとともに、本機を活用し、米ぬかの再利用を図る講習会等を実施した。うるぎ米のPRや新規就農者の増加につながる取組に発展することを期待する。
3	雪かきお助け隊支援事業	売木村	高齢化や人口減少により雪かきの支援要望があったため、村内で除雪機が配備されていない2地区に除雪機を整備した。 ・除雪機の購入(2台) ・携行缶の購入(2台) ・軽トラ積載用のアルミブリッジの購入(2台)  ①除雪機、携行缶、アルミブリッジ購入費	1,847	1,231	今回の事業で村全7地区に除雪機が整備され、降雪時に迅速に対応できる体制が出来た。除雪と併せ、地域による高齢者等の見守り活動に発展していくことを期待する。
4	武田信玄の狼煙を再現し、狼煙で地域をつなごう	武田信玄狼煙会(喬木村)	武田信玄公生誕500年を記念し、信玄の支配下にあった地域間の連携や交流を促進するため、信玄が情報伝達的手段として活用した狼煙をリレーするイベントを中心とした事業を積極的に実施する。 ・地区ごとに近隣の狼煙場をめぐる学習会を実施 ・南信約50か所と塩尻地区約10か所山梨県内11か所で狼煙リレーを実施 ・狼煙リレーの様子をドローンで撮影し、動画をYouTubeで公開  ①動画作成、のぼり旗、ポスター・チラシ等	1,042	731	多数の市町村と連携し、目標数値以上の狼煙リレー参加者・見学者を達成した。本イベントを契機に参加する市町村が連携を深め、新たな交流活動につながっていくことを期待する。
6	「ひとと まちと お練りまつり」祭りの原点と新時代への継承 事業	飯田商工会議所(飯田市)	七年に一度開催される「飯田お練りまつり」に込められた人々の思いや芸能を後世へ繋ぐための事業を実施した。 ・HPを開設し、過去の演舞の動画配信、フォトギャラリー、グッズ販売等のコンテンツを作成 ・祭りへの関心を高めてもらう事前事業としてスタンプラリーを開催 ・出演団体の位置や駐車場空状況、GPSを使用したシステムで情報配信 ・公式ガイド誌を発行するとともに、芸能見学会を実施  ①HP制作、システム構築、ガイド誌作成	8,331	5,000	「飯田お練りまつり」という伝統ある文化にGPS位置特定システムなど利便性の向上を図る試みを取り入れ、好評であった。今後はさらにまつりを盛り上げていけるよう、新規団体の参加や伝統技術の継承にも取り組むことを期待する。
8	芝居と歌で語り継ぐ、歌人「金田千鶴」の生きた道	演劇集団「演劇宿」(飯田市)	泰阜村出身の女流歌人金田千鶴の生涯を描いた演劇を通じて、千鶴の作品の魅力や地域の文化を広く郡市民に伝える。 ・和歌や散文を織り交ぜながら千鶴の生涯をドキュメントタッチに描いた芝居を発表 ・金田千鶴ゆかりの地を探访 ・金田千鶴の歌の魅力や時代背景を学ぶ講座を開催  ①会場使用料、講師謝礼、広報宣伝費、印刷製本費等	1,673	879	地域住民に金田千鶴の存在を広く伝えるとともに、芝居を交えることで理解を促す取組である。引き続き活動を継続し、より多くの人に金田千鶴が認知されることを期待する。
9	繋がり創出による南信州民俗芸能継承推進事業	南信州民俗芸能継承推進協議会(飯田市)	地域内の企業、住民、さらには地域外で暮らす縁故者や旅行者等の関係人口が、当地域の民俗芸能との繋がりを作ることで、民俗芸能を未来へ繋いでいくことを目的とした事業を実施した。 ・南信州民俗芸能ファンクラブを立ち上げ、イベント等の情報を発信 ・民俗芸能継承フォーラム(7月)、第4回伊那民俗研究集会(10月)、パートナー企業勉強会(2月)を実施 ・ウェブサイトにもユネスコ無形文化遺産登録に向けた啓発ページ及びファンクラブ紹介ページを追加 ・飯田お練りまつりの際に、パネル・映像による民俗芸能PRを行う展示場(南信州民俗芸能サロンの)開設 ・民俗芸能行事の写真及びビデオ撮影に協力し、情報発信、記録保存を支援 ①広報費、講師謝金、カレンダー制作、HP更新・掲載動画編集、お練りまつり展示場設営・展示パネル・ノベルティ作成費等 ②撮影機器整備	3,401	2,400	南信州民俗芸能継承フォーラムの開催やファンクラブの創設・運営により、地域住民はじめ、企業や地域外へ当地域の民俗芸能を広く周知し、知名度の向上につながっている。今後も多様な主体と連携し、民俗芸能の保存・継承・PRに取り組むことを期待する。
10	馬坂地区文化財振興事業	松川町	宮ヶ瀬橋架け替えの際に見えられた文化財について関心を持ってもらい、地域資源として活用していくため、下記の事業を実施。 ・馬坂自治会所で埋蔵文化財の展示、発掘調査の報告会を実施 ・橋の架け替えに伴い移設されたこととなった「一ノ笏(いちのはね)」と呼ばれる川の流れる川を仰る例についての学習会を開催 ・馬坂遺跡、一ノ笏の説明看板を設置  ①講師謝礼、展示パネル等 ②看板	482	340	文化財の解説看板を設置することで、地域の歴史・文化財に関心を持ってもらうきっかけを創出した。今後も幅広い世代に向けて地域の歴史・文化財についての情報発信を期待する。
11	「やるのも見るのも」エンジョイ！スポーツ事業	高森町	2028年の国民体育大会、全国障害者スポーツ大会に向け、地域住民の意識の高揚を図るとともに、多くの住民が競技に親しみ、大会を楽めるようにスポーツ振興に取り組む。 ・カヌー、アイススレッジホッケーのアスリートを招聘し、講演及び実技を行う ・学校のプールでカヌー体験会を開催 ・東京オリンピック、パラリンピックのパブリックビューイング等、地域住民がスポーツに親しむ機会を設ける  ①講師謝礼、講師交通費	590	472	講演会・体験会の開催により、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた町民意識醸成に取り組んだ。今後、幅広い世代の町民がカヌーを通して地域づくりに参画に繋がることを期待する
12	高森の道を通してふるさとのよさを再認識する事業	高森町	町内の歴史ある道の成り立ちや景観等を住民に知ってもらい、ふるさとの良さを再認識してもらうことを目的とした事業を実施する。 ・道ができた時代背景、残したい景観、傍らにある文化財等をまとめた冊子を作成し、小中学校等へ配布 ・地域の道について理解を深めてもらうため、ウォーキングイベントを開催 ・資料展示、講演会を開催  ①冊子作成	935	748	平成30年度から3年間をかけて高森町の道についての調査を行い、その結果をまとめた冊子を作成した。引き続き研究を重ねるとともに、資料を活用し、道を通して多くの町民が町の歴史に関心を持つ事業に取り組むことを期待する。
13	地域内外の防災力を高めるための防災教育コンテンツ開発事業	一般社団法人ねばのり(根羽村)	山地酪農のフィールド「ハッピーマウンテン」を活用し、子供たちの防災力を高める事業を実施した。 ・交流拠点をワークショップ型DIY形式で設置 ・村内、村外向けに防災キャンプを実施  ①防災キャンプコンテンツ開発、防災キャンプ備品 ②拠点開発	4,009	3,033	防災とキャンプを組み合わせ、子供たちが楽しみながら防災を学べる事業を実施した。災害時の地域の拠点になり得る事業であり、地域に広く類似事業を展開することを期待する。
14	未来にツナガル！下條こども歌舞伎オリジナル演目制作事業	下條村歌舞伎保存会(下條村)	下條歌舞伎の保存継承目指し、村にゆかりのある河竹黙阿弥の歌舞伎を脚色した創作歌舞伎を、製作した。 ・台本、音源の制作 ・村の子どもたちによるお披露目会を3月28日に実施 ・完成したオリジナル作品を村内に広報するとともに、次年度の参加者の募集を開始  ①歌舞伎台本、音源制作費	380	304	コロナ禍の影響により、制作したオリジナル演目を十分にPRできなかったが、次年度以降は公演の機会を設け、広く下條歌舞伎のPRに活用されることを期待する。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
15	太鼓の体験や演奏による地域活性化事業	下條村	現代社会の中で重要な生涯学習の場を提供するため、和太鼓や獅子舞を整備し、様々な世代で練習、演奏を行った。 ・小中学生合同練習 ・様々なイベントでの演奏披露 ・小中学生の交流会 ①和太鼓購入費用 ②和太鼓、獅子頭購入費用	4,240	3,207	他の地域の太鼓クラブと合同で練習するなど、住民間での交流活動に繋がった。購入品を大切に利用し、長く活動に取り組みられることを期待する。
16	豊丘村石造文化財データベースとマップ作成事業	豊丘村	村にある石造文化財の価値や先人の思いを次代に伝えることを目的とした事業を実施する。 ・学校の地域学習等で活用できるように、石造文化財の位置、写真、属性情報をデータベース化 ・石造文化財の種類や調れについての講演会を開催 ・珍しい石造文化財を抽出し、ガイドマップを作成、小中学生等に配布 ①管理システム開発、講師謝礼、ガイドマップ作成等	1,847	1,359	身近なところに文化財があることを地域住民が知ることができ取組である。作成したガイドマップを継続的に活用し、地域の文化財に対する理解が深まることを期待する。
17	災害時における避難生活体験(避難所開設と対象者に合わせたバッククッキング)および健康二次被害の予防に関する講座	学校法人高松学園 飯田女子短期大学(飯田市)	避難生活の具体的なイメージづくり、健康二次被害予防に関する知識の獲得、災害時における調理の工夫技術の獲得を目的とした防災講座を飯田市、高森町、秦阜村の住民を対象に実施(2年目) ・簡易ベットとテントを活用した生活スペースの設置及び体験や簡易トイレの作成 ・水が不足しているときの衛生管理、下肢の運動・マッサージ方法、弾性ストッキング着用体験、ライフライン停止時の口腔ケア体験 ・衛生管理、調理体験(バッククッキング)、使用済み天ぷら油を利用したろうそくの展示 ①避難ベット、テント、弾性ストッキング、カセットコンロ、印刷費等 ②災害用炊炊釜	1,660	1,316	避難後の調理等に焦点をあてた取組で、災害後の避難所運営にまで地域住民の意識を広げた点が評価できる。今後さらに広い地域で活動を展開し、多くの地域住民の啓発に繋がるとを期待する。
18	保育に関わる人のための安全対策講座	学校法人高松学園 飯田女子短期大学(飯田市)	南信州地域の保育士等を対象とし、保育の安全に関する意識・スキル向上を目的とした安全対策講座を実施する。3年目 ・講座は保育時の危険予知回避の方法や安全管理マニュアル作成についての「危険予知編」と、心肺蘇生、ケガ手当、アレルギー発作対応などの実地訓練の「応急手当編」の2種類を実施 ・昨年度よりも定員を増やし、多くの方に受講していただいた ①チラシ、テキスト代、訓練用AED、訓練用消耗品等	640	454	「自然保育」を念頭に置いた安全対策講座は着眼点に優れ、今後のニーズの高まりも予想される。本事業での成果を活かして引き続き、安全・安心な保育環境の推進に取り組まれない。
19	循環型社会福祉の「命の授業」事業	ジングルライダー(飯田市)	「交通安全」「有害鳥獣」をキーワードに命の大切さを伝える「命の授業」に「循環型地域福祉」の要素を取り入れ、活動を広げる。3年目 ・ひとり親家庭の方、障がい者、に、鹿革を活用したお守り、カードケースを制作してもらい配布、販売 ・交通安全のステッカー、チラシを配布して事業を周知 ・鹿革の活用やSDGs、子供の居場所についての動画を制作 ①鹿革、工賃、ステッカー、チラシ、動画制作等	1,528	1,145	3年間に渡り、有害鳥獣の革を使った小物づくりにより、楽しみながら「命」の大切さを学ぶ活動を実施した。他の団体と連携し、地域内外への情報発信にも積極的に取り組んでおり、今後の事業の発展を期待する。
20	防災マニュアル作成と避難訓練実践事業	阿智村	住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的として、防災マニュアルを作成した。 ・自治会ごとに住民検討委員会を組織し、災害時に住民ができる行動や、何を備えておかなければならないかを考え、防災マニュアル、支え合いマップを作成した。 ・防災マニュアル案に沿って実際に要配慮者を避難させる訓練を実施予定であったが、コロナで中止(次年度に延期)となった。 ①防災マニュアル印刷	687	549	住民の防災に対する意識の高揚を図るため、住民に防災マニュアルの作成を働きかけた。今後、継続的に地域が作成した防災マニュアルの更新・改良に取り組むことを期待する。
21	感染症対策を念頭にした避難所運営計画づくりと、防災訓練の実施	林原木門地区(豊丘村)	新型コロナウイルス等の感染症対策を念頭にした避難所運営計画づくりと、それに基づく訓練等を行い、住民自らが避難所運営のノウハウを獲得する。 ・県の避難所運営マニュアル策定指針を参考に、役場、医療機関、防災関連企業等の協力を得て避難所運営計画を策定 ・計画をベースに、情報伝達やテント設置、要支援者の救出、感染症の疑いのある避難者の隔離等の訓練を実施し、計画の実効性を検証 ①避難所運営計画パンフレット、避難用テント等 ②トランシーバー、防災本部テント	1,982	1,207	住民の代表らによる計画策定チームを立ち上げ、住民自ら研究・協議を行い実現可能な取組を明記した「地区防災計画、避難所運営計画」を策定した。今後、継続的に作成した計画の更新・改良に取り組むことを期待する。
22	森林バイオマスエネルギー等利用推進事業	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師(飯田市)	針葉樹林の混交林化によるCO2の削減と、プラスチック製の日用品の木質化によるプラスチックごみの削減に取り組んだ。 ・針葉樹林、広葉樹林から伐採した木材を「木の駅ひさかた」に集積し、薪・炭、木工製品に加工、ウェブ上で販売。 ・子供たちと一緒に里山からどんぐりを集めポットに入れ、翌年発芽したポット苗を針葉樹林に植樹し混交林化を進めた。 ①伐採技術講座謝金、チェーンソー、オイル ②運搬機	397	303	地域の方々と協働し、木の利活用によるCO2、プラスチックごみの削減に取り組んだ。持続的な里山の整備・活用に資する取組であり、今後の事業の発展を期待する。
23	南信州環境フェアの開催	南信州環境フェア実行委員会(飯田市)	再生エネルギーの普及や循環型社会構築の機運を高めるとともに、民間企業・活動団体・地域住民など多様な主体が協働して地球温暖化対策に取り組む環境先進地域づくりを目指すため、環境フェアを開催 ・環境啓発と環境技術・情報交換環境フェア 2日間 ・ゼロカーボン社会をテーマとしたシンポジウム ・出展募集による各団体のブース出展 ・アトラクション及び体験講座 ①委託料、広告費等	4,025	3,200	関係機関と連携して地域に広くフェアを周知し、企業や学生など多様な主体の参画に繋がるとともに、目標以上の来場者数を達成した。今後、改良を重ねながら継続的に活動に取り組むことを期待する。
24	プラスチックスマート運動の推進	南信州プラスチックスマート推進協議会(飯田市)	海洋プラスチックごみ問題に一人一人が向き合い、自然界にプラスチックを放出させない意識を持って行動するよう、プラスチックスマートの啓発に取り組んだ ・海岸ごみ拾いを題材とした啓発動画を制作し、CATVで放映するとともに啓発チラシを配布 ・南信州環境メッセ等でプラスチックスマートを啓発するための展示用パネルを制作 ・海岸・河川でごみ拾い活動をしているNPOや市民団体を講師とする講演会を開催 ①動画制作、啓発チラシ、展示用パネル、講師謝金	549	439	動画、チラシ、パネルといった様々な方法で啓発を行うことで、多くの人の目に触れる啓発となった。プラスチックスマート運動を普及するため、継続して啓発活動に取り組まれることを期待する。
25	地域と町で進める竹林・森林整備事業	松川町(松川町)	破砕機を購入し竹林や森林の整備が行き届いていない地域へ貸出し、景観保全に取り組む。 ・木材破砕機の操作講習会を2回開催 ・およりの森を住民協働で整備するとともに、自然観察会を開催 ・伐採した竹をチップにし、竹林へ撒いてたけのこの育成を促進する、除草マルチとして利用する等、利活用を図る ①講師謝金、アドバイザー委託料 ②木材破砕機、付属品	3,446	2,338	竹の伐採にとどまらず、破砕した竹のチップ化・利活用に取り組んだ。有効な利用方法の確立のため、様々な用途への試行錯誤を続けられることを期待する。
26	根羽村フラワーパーク化事業	一般社団法人 根羽村観光協会(根羽村)	根羽村への来訪者を増加させるため、花の景勝地とすること(フラワーパーク化)を目指し、事業を実施した。 ・ネーバード周辺に花桃、紫陽花を住民協働で植栽 ①苗、肥料、支柱等	658	526	花により根羽村への来訪者を増加させる取組である。来訪者増加のため、情報発信方法の工夫にも取り組まれることを期待する。
27	九十九谷森林公園の景観整備とくりん草園及びアジサイ園復活事業	喬木村	豪雨により被害を受けたくりん草園の水回しの修繕及びアジサイ園内の土砂撤去を行った上で、住民協働でくりん草・アジサイの定植や手入れを行う。2年目 ・くりん草園内の水回しの修繕を行い、愛好会を中心としたボランティアにより排水用ホースを設置 ・アジサイ園内の土砂を業者委託により撤去 ・小中学生を含む地元ボランティアにより苗の定植等を実施 ①アジサイ苗木 ②工事請負費	1,744	1,203	くりん草園を中心に、森林公園の修繕再活性化に取り組む、くりん草園の再開及び来園者の増加に繋がった。地域住民の憩いの場となるよう、今後の活用やPRに取り組まれることを期待する。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
28	南信州シードルツーリズム推進事業(第3期)	特定非営利活動法人国際りんご・シードル振興会(飯田市)	持続可能な果樹・シードル産業を支援し、観光をツールに地域全体の経済循環に波及させ、地域活性化を図ることを目的として、シードルを核としたツーリズムの推進に取り組む。3年目 ・「ご当地じゃらんシードル旅」を増刷するとともに、アンケートを折り込み、結果をシードルツーリズムの改善に活かす ・海外5か国の醸造家とのコラボレーション醸造の実現に向け、交流を継続するとともに、国内外への情報発信を強化 ・観光プランの磨き上げのため、国内向けモニターツアー夏季と秋季に開催 ・モニターツアーの検証等を行うため、研究集会を開催 ①ご当地じゃらん増刷、通訳等委託料、モニターツアー開催費、研究集会支援コンサル料等	3,265	2,264	モニターツアーは、醸造所、飲食店、観光地と連携を図り、シードルのみならず地域の魅力発信に繋がった。今後も官民・地域と連携し、世界にシードルツーリズムをPRされることを期待する。
29	伊那谷ガレットと南信州の伝統野菜、シードルの連携による魅力ある観光地づくり事業	信州伊那谷ガレット協議会南信州支部(飯田市)	○ガレット教室の開催 全5回(5/20飯田市、7/1根羽村、9/15天龍村、10/4大鹿村、3/15オンライン) ○パンフレット作成 ガレットの紹介、伊那谷でガレットを作る理由等を掲載したパンフレットを3,000部作成し、教室参加者や開催市町村等へ配布 ①ガレット材料費・備品、パンフレット制作費	513	410	コロナ禍の影響により、ガレット教室の開催とパンフレットの作成に留まった。今後、作成したパンフレットを活用し、ガレットをよりPRされることを期待する。
30	三遠南信道の開通を契機に「天龍峡」を竜東地域拠点とする新たな観光資源開拓のための挑戦	龍江地域づくり委員会(飯田市)	天竜川河畔、坂、里山等と親和性の高いキャンプ、バックラフト、eバイク等のアウトドアレジャーを掛け合わせ、独自性のある観光コンテンツづくりに取り組んだ。2年目 ・バックラフト、E-BIKE、熱気球の体験等ができるアウトドアフェスを10/24に開催 ・富沢分校跡地をキャンプサイトとして整備。近接のふれあい七和館を管理事務所、トイレ水回り提供施設として活用。 ・1泊2日のアウトドア体験イベント(アウトドアフェス)及び観光振興に取り組む各団体の連携強化を図るアウトドアサミットは、2月15日付け変更申請のとおり実施できなかった ・フリーペーパーの発刊は1回に留まったが、サイクリングコースのHP掲載等と併せて活動をPR ①アウトドアフェスの開催・ノベルティ費、レンタル用キャンプ備品、フリーペーパー制作費、看板製作費、サイクリングコース認定・デジタル対応費等 ②キャンプサイト水路工事、レンタル用E-BIKE	4,344	3,410	龍江地域全体で観光コンテンツづくりに取り組み、多くの来客に繋がった。再来訪に繋がるよう、事業内容を工夫しつつ継続して取り組むことを期待する。
31	千代地区観光資源の魅力増進、発信事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	千代地区にある観光資源を守り育て、地域を活性化するため、地区内の観光名所の環境整備を実施した。 ・野池第二親水公園へ簡易水洗トイレを設置 ・新たな魅力発信、観光コンテンツとして尺八講習会・演奏会を開催 ①講習会講師料、簡易尺八製作費等 ②トイレ整備工事	5,019	3,323	野池公園の施設を整備し、キャンプ場の来場者数を増やすとともに、地域の憩いの場として活用した。引き続き、地域一丸となって整備に取り組まれることを期待する。
32	遠山郷内の案内表示・デジタル看板化事業	遠山郷観光協会(飯田市)	遠山郷を訪れる観光客の利便性向上のため、案内看板を住民協働で設置した。 ・下栗の里、森林鉄道跡(トレッキングコース)、金七の滝の案内看板を設置 ・トレッキングコースの看板にQRコードを掲示し、関連写真やドローンで撮影した動画へ誘導(デジタル看板化) ①動画撮影 ②看板	1,155	736	ドローンやデジタルを活かし、地域と連携して来訪者の利便性向上を図る取組であり、今後につながる事業となった。今回の事業をゴールとせず、引き続き地域資源を活かした地域づくりに取り組まれることを期待する。
33	地域資源を活用したSDGs教育プログラム開発と体験型観光振興事業	株式会社南信州観光公社(飯田市)	SDGs17目標のうち、質の高い教育、働きがいと経済成長、住み続けられるまちづくり等に関連し、地域の経済・環境・社会のトリプルボトムラインをバランスよく発展させる体験型観光の振興に取り組んだ。 ・「全国ほんもの体験フォーラム」を開催し、全国の体験プログラム、農泊、教育旅行等の事例やプロモーション方法等について意見交換を実施 ・地域資源を活用した教育プログラムを開発し、その担い手であるファシリテーター(学習支援者)を育成するため、管内各地で研修会を開催 ①フォーラム講師謝金・旅費、広報費、会場費、バス借上り料等	5,564	4,443	南信州地域の体験型観光の全国発信により、南信州地域のPRになっていく。引き続きPR展開に取り組む、南信州地域の認知度向上に資することを期待する。
34	南信州山岳文化振興事業	一般社団法人南信州山岳文化伝統の会(飯田市)	南アルプスにおけるエコツーリズム山岳観光地の確立と新型コロナウイルス感染症に強い山岳観光モデルの創出を目指し、登山道・テント場整備等を実施した。 ・聖岳、赤石岳に向かう登山道を整備(7月、9月) ・「西沢渡」・「面平」にテント場・備品を整備し、宿泊しての登山を可能にした(5月、9月) ・県内外の旅行・アウトドア事業者、山岳ガイド組織等の関係者によるファミトリップを実施(6月、10月) ・2種類のPR動画(登山Yotuberがほ氏、アルピニスト近藤氏がそれぞれ出演)をYoutubeに12月から配信するとともに、パンフレットを旅行・アウトドア事業者、山岳ガイド組織等に配布し、知名度の向上を図った ・エコ登山のシステムを理解するためのガイド講習(遠山郷ガイド組合創立講習会・ファミトリップ自然観光素材等研修会)を3月6日に実施 ・PR動画「キャンプ場の利用方法」を作成し、6月20日にYoutube配信 ①登山道整備作業委託、テント泊備品、動画作成費、講師謝金等	3,379	2,703	登山ツアー会社のツアー商品に加わるなどにより、登山客の増加がみられ、事業の効果が表れている点が評価できる。当山域での遭難者が増加していることから、安全対策にも取り組まれることを期待する。
35	南信州地産地消推進事業	南信州地産地消推進協議会(飯田市)	農業団体、旅館ホテル、飲食店、生産者、住民、行政等が連携・協力して地産地消に取り組む ・旅館ホテル・飲食店経営者、農業生産者等を対象に地産地消研修会を開催 ・研修会参加者の中から地産地消モデル施設を選定し、生産者との連携やメニュー開発に対するコンサルティングを実施 ・伝統野菜の活用を含めた食文化の伝承や新たなレシピ開発等を行う「食のアカデミー」を開発し、生産者と実需者の意見交換、レシピ開発講座、料理コンテスト等を実施 ①会場使用料、講師謝金・旅費、印刷費、広告費等	1,491	1,191	地産地消システム「まちの八百屋」を創設し、生産者と消費者を結び地産地消の仕組み確立に向けた基礎作りとなった。地域にこの仕組みを根付かせ、地域経済の活性化に繋がることを期待する。
36	高森の山マップ製作	高森町	地元住民の山への関心を高めるとともに、山岳観光を推進するため、登山マップの製作に取り組んだ。 ・登山マップには、既存の手描きの山歩き地図(イラストマップ)を利用し、周辺の観光施設も掲載。近隣市町村の道の駅や観光案内所、銀座NAGANO、登山用品店に配置した。 ※当初予定していた登山ルートの新設は、登山ルートに通じる道路が災害により通行止めになったことから中止 ①マップ印刷費、イラスト借用謝金	578	433	山道の土砂崩落の影響で、マップの利活用はまだ踏み込めなかったものの、今後の山岳観光の推進に資する取組である。次年度以降のマップ本格運用を期待する。
37	平石サポテン広場に巨大壁画を作って何時でも楽しめる場所にする事業	三共山沿い地方活性化クラブ(阿南町)	町にある平石サポテン広場を、利便性を高めイベント等に活用してもらうとともに、町の観光スポットとしての認知度向上を図るため、パイプハウスの設置及び巨大壁画の作成を実施した。 ・壁画作成 ・パイプハウス2棟設置 ①壁画作成費用、壁画タイル費用、インクジェットフィルム作成費用、のぼり旗作成費 ②石積壁画下工事費、パイプハウス制作費	1,873	1,184	既存の広場の観光スポットとしての魅力・利便性の向上に繋がった。今後は新しくなった広場のPRを行い、更なる認知度の向上を目指すことを期待する。



事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
38	令和新時代を拓く東山道×7summitプロジェクト	阿智村	<p>村の課題である屋間の観光コンテンツの充実を目指し、東山道とセブンサミットを中心とした山岳観光に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客に古道東山道を認知してもらうため、案内看板を設置</li> <li>東山道をPRするショートムービーを作成</li> <li>登山者向けのセブンサミットパンフレットを作成</li> <li>固定公園指定記念を周知</li> <li>セブンサミット登山口へ案内看板を設置</li> </ul> <p>①動画作成、パンフレット等 ②看板設置</p>	2,835	2,059	屋間の観光コンテンツの充実を目指し、東山道と山に着眼したコンテンツ開発に取り組んだ。旧道・山道は歩きにくい箇所も多いことから、安全対策にも取り組まれることを期待する。
39	西部三村 巨木・古木コンテンツ化事業(地域の古巨木に着目した周遊促進事業)	下伊那郡西部3か村地域振興協議会(阿智村)	<p>阿智村、平谷村、根羽村に散在する樹齢200年を超える古巨木を新たな観光コンテンツとしてPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西部3村にある古巨木のカードを10種類作成し、カードごとに配布条件(消費行動)を定めて配布</li> <li>カードケースを兼ねたパンフレットを作成しPR</li> <li>阿智屋神観光局、南信州観光公社等と連携し、古巨木をめぐるツアーを開催</li> </ul> <p>①カード作成、パンフレット印刷、コンプリート特典(対象外)等</p>	1,485	1,139	南信州の西部地域に散在する樹齢200年を超える古巨木に着目し、新たな観光コンテンツとしてPRした。引き続き魅力的なコンテンツ開発に取り組まれることを期待する。
40	南アルプスみんなでつくる安全登山、鳥倉登山口～三伏峠登山道整備	大鹿村	<p>登山者が安全に登山できる環境整備を目的とした事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登山道の危険箇所について避難対策協議会と協働して登山道を整備</li> <li>登山情報施設活用へ向けた周知活動</li> </ul> <p>②登山道整備</p>	1,375	916	登山道の危険箇所について、避難対策協議会との協働により登山道整備・周知を行った。安全な登山環境整備のため、継続的な整備・情報発信に期待する。
41	地域ブランド「市田柿」の発信による地域活性化	市田柿活性化推進協議会(飯田市)	<p>市田柿関係企業、団体、行政等の協働により、市田柿ブランドの発信による地域活性化に取り組んだ(2年目)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真、絵画コンクールを開催し、写真は42点、絵画は127点の応募があった(1/11に審査会を実施し、優秀作品は今後のPR教材として活用予定)</li> <li>高速路線バス2台の後部に市田柿のラッピングを施工し、各地に市田柿をPR</li> <li>昨年度に作成した「市田柿ストーリーブック」を加盟団体・管内中学校に計6,000部配布するとともに、10月に旭ヶ丘・高森中学校1年生に対してストーリーブックを活用した食育活動を実施</li> <li>1/23の市田柿イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止</li> <li>保育園への食育事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一部実施に留まるが、市田柿の生産加工工程が分かるパンフレットを作成し、個包装の市田柿と一緒に配布</li> </ul>	2,327	1,861	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市田柿イベントは中止になったが、地域内外に広く市田柿のPRや食育活動に取り組んだ点は評価できる。市田柿ブランドの認知度が向上するよう、引き続き活動に取り組まれることを期待する。
42	遊休農地の活用と、市田柿づくりの伝承	市田柿づくりをやらまい会(飯田市)	<p>①広報費 ラッピングバス提出料、ストーリーブック、パンフレット印刷費、市田柿等</p> <p>地域の特産物である市田柿を後世に残し、伝統の継承と消費拡大を図るため、子供たちに市田柿づくりを伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食堂の運営団体や農業教育を行う団体等と連携し、市田柿についての学習会、畑の整備から干し柿づくりまでの一連の作業の体験会を実施(7/31～1/8)</li> <li>子ども食堂で柿を使用したおやつを提供(12/8)</li> </ul> <p>①肥料、消毒、活動用半纏、看板、のぼり旗、トラクター等リース料</p>	443	330	遊休農地を活用し、地域の子供達に市田柿づくりの様子を伝える取組を行った。多くの子供達が地域の特産品の製作過程を学べるよう、継続的に取り組むことを期待する。
43	～これからの農業を考える～新・みらい塾	新・みらい塾実行委員会(松川町)	<p>平成30年度から令和2年度まで町が運営していた農業経営塾「松川農業みらい塾」を持続・発展させるため、若手農業者からなる実行委員会が主体となって「新・みらい塾」として運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本各地の農業実践者等を講師として招き、農業従事者のモチベーションを高めるための講座「あの人シノト論」を開催</li> <li>地域の課題解決に向けた取組を考えるワークショップを開催</li> <li>受講生の横のつながり構築、販路拡大等を目的としたフィールドワークとして、静岡県沼津市での農産物販売体験を実施</li> <li>気候変動をテーマとした講演会を開催</li> </ul> <p>①講師謝金、フィールドワーク交通費、レンタカー代等</p>	954	763	町が運営していた農業経営塾「松川農業みらい塾」を実行委員会が引き継ぎ、自立した活動となった点が評価できる。今後学んだことを実際に行動に移し、地域に良い影響が広がることを期待する。
44	健康な食が健康な体を育む。～環境保全型農業の推進～	松川町	<p>遊休農地の解消や地域の農業の継続に向け、住民一人一人が農ある暮らしでの健康な生活を目指すよう、環境保全型農業、有機農業の推進に取り組んだ。3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月11日(土)に、おいしく楽しく免疫力を上げるためのヒントが満載のドキュメンタリー映画の上映と、農作業体験会を実施</li> <li>11月1日(月)に、農作業体験を実施するとともに、映画監督と有識者とのトークショーを開催</li> <li>畑作りを身近に感じてもらい、野菜作りに取り組むきっかけになるような番組を4～12月にかけて制作・放送(ケーブルテレビ)</li> <li>遊休農地を活用した環境保全型農業の研修を実施し、栽培した食材を町内小中学校、病院、福祉施設へ提供</li> </ul> <p>①講師謝金・交通費、映画上映、草刈り・耕起作業、チラシ等</p>	979	716	地域住民への環境保全や有機農業の啓発に取り組みに取り組み、住民が「農」に触れることで遊休農地の減少にも繋がった。今後は、啓発活動のみならず、農業を通して住民交流・活動が活性化する事業に発展することを期待する。
45	三紀層フルーツ大根で地域に元気を！事業	三紀層フルーツ大根生産者グループ(阿南町)	<p>阿南町内における農業の担い手不足や耕作放棄地問題などを解消するため、三紀層フルーツ大根を通して以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三紀層の魅力発信するため、三紀層フルーツ大根の由来や写真を掲載したHPを開設し、併せてネットショップの開設も行った。</li> <li>地域の特産品に触れる機会とするため、収穫した大根を町民へ斡旋する大根販売ツール(チラシ)を作成した。新聞折り込みにて配布し、45本を販売した。</li> <li>三紀層フルーツ大根を通して野菜の流通の仕組みや有機栽培についてを説明した食育冊子を作成した。町内の小中学校へ配布する予定。</li> </ul> <p>①HP及びネットショップ開設費 ②大根販売予約票作成費及び新聞折り込み代、食育冊子作成費</p>	462	369	ホームページ作成により、地域内外へフルーツ大根をPRすることができ、三紀層の魅力発信に繋がった。今後地域内外に、フルーツ大根の魅力発信に取り組まれることを期待する。
46	泰阜村でのこんにやく芋生産拡大事業	泰阜村こんにやく芋生産振興会(泰阜村)	<p>村内でのこんにやく芋の生産振興を図るため、耕運機と保管用倉庫を整備し、生産者募集活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産者募集のための村内ケーブルテレビ放送の実施</li> <li>こんにやく芋生産活動</li> <li>耕運機の購入</li> <li>こんにやく芋保管用倉庫の改修</li> </ul> <p>①種芋購入費 ②耕運機購入費、倉庫改修費</p>	729	555	こんにやく芋生産復活に向けた足掛かりとなる取組である点は評価できる。より多くの生産者が獲得できるよう、継続的に取り組むとともに、こんにやく芋生産方法の改良を重ねることを期待する。
47	南信州食材の新たな販路拡大に向けた取り組み	学校法人高松学園飯田女子短期大学(飯田市)	<p>南信州地域の特色ある食材の健康増進効果に着目し、若い世代や海外に向けてPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高野豆腐や小豆あん等の地域食材の摂取による健康増進効果を測定するため、健康増進教室を開催</li> <li>中高生や保護者を対象とした食育出前講座を開催</li> <li>南信州食材には葉酸や鉄分が豊富に含まれているものが多く、貧血予防の効果が期待できることから、健康増進教室・出前講座の参加者のヘモグロビン推定値を測定</li> <li>南信州食材の海外での認知度向上のため、英語版のパンフレットを作成し、中学校、高校、エスバード、市役所等に配布</li> </ul> <p>①チラシ、パンフレット、健康増進教室用食材等 ②ヘモグロビン推定値測定機器</p>	594	445	南信州地域の特産品に着目し、その健康増進効果を調べるとともに、地域住民への食育活動に取り組んだ。地域食材の消費拡大に繋がることが期待する。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
48	インターンシップアシスト事業	回帰促進協議会(飯田市)	南信州地域へのUターン就職促進のため、地元企業のインターンシップ受け入れ活動支援事業を次のとおり実施した。 ・オンラインカフェ:オンラインミーティングツールを活用した学生と企業の継続的な交流を支援(全7回) ・働くってこんなこと:企業の社員と学生が「働くこと」について対話することで、学生の仕事への理解を促すとともに、就職への不安を解消する取組を実施(全12回) ・社会人名鑑:学生の当地域での生活・仕事への関心を高めるため、企業の社員のインタビュー動画をYoutube配信(全13回) ・内定者と話す会:就職活動に臨む学生の相談に先輩学生が乗り、学生の不安を解消する取組を実施(全3回) ・インターンシップ参加学生を募集するため、SNSによる情報発信を実施 ・企業のインターンシップ受入状況を調査するとともに、一体的にウェブサイトに掲載・発信(39社) ・当地域で暮らすことを魅力的に感じてもらうため、当地域の魅力的な写真・ニュース・動画をSNSにより発信 ・当地域の企業に、他企業のインターンシップ状況を共有するとともに、インターンシップの実施を促した  ①インターンシップ支援・情報発信の委託料等	2,120	1,496	当地域の課題である若年層の帰郷のため、インターンシップをはじめとする企業と学生の交流活動に取り組んだ。地域企業が積極的に取り組み、自立した事業となることを期待する。
49	Uターンと地元就職促進事業	高森町	高森町出身の学生等を対象として、Uターン就業の促進に取り組んだ。 ・町内の企業の情報をまとめたパンフレットを作成し、中学生のキャリア教育で活用 ・Uターンを検討する方向けに、「現在の高森町での暮らし」に関する情報をもとめたパンフレットを作成し、情報発信に活用 ・わかもの☆特命係と共同で、地元の学生、地元で活躍する社会人やUターン者と地域外居住者とのオンライン交流会を3月に開催  ①パンフレット制作費	1,029	822	高森町出身の学生等を対象として、Uターン就業の促進に取り組んだ。対象者別に内容の違う冊子を作成したり、オンラインで町外在住者との交流会を実施するなど工夫もあり、今後の展開を期待する。
50	地域資源の活用による駒場地区の観光コンテンツづくり	阿智村	阿智村の課題である日中の観光コンテンツ不足、地域資源を生かした観光の展開に取り組むため、駒場地区の「旧銭湯玉の湯」と「熊谷元一写真」を観光コンテンツとして打ち出す足掛かりをつくる事業に取り組んだ。 ・駒場地区出身の写真家 熊谷元一の写真パネルを100点作成し、村内の観光施設等に展示 ・写真にある生活の場面をクイズにしたり、撮影場所を探すウォークラリーを開催→コロナにより中止 ・多くの人に熊谷元一を知ってもらうため、写真家や民俗学研究者によるパネルディスカッション(熊谷元一シンポジウム)を開催→コロナにより中止 ・地域に暮らす若者等と共同で完成された「こまんばmachiproject」が中心となり、旧銭湯玉の湯を会場に、昔の遊び・体験や駒場の歴史を聞く会を開催  ①写真パネル	960	767	観光コンテンツ不足を解消するため、「旧銭湯玉の湯」と「熊谷元一写真」を活用して地域住民とともに観光コンテンツ制作に取り組んだ。つながり人口の獲得にも資する取組であり、今後継続的に取り組むことを期待する。
51	阿島傘りバイバル計画(第3期)	喬木村	「南信州産材で作る阿島傘の振興」を目的として、担い手の育成や原材料供給体制の確保に取り組む。3年目 ・これまでに技術習得した工程の技術力向上に加え、蛇の目傘の製作や傘骨製作も村内で実施できるよう、担い手育成講座を開催 ・講座受講生が製作した傘の展示イベントを開催 ・傘骨の原材料を村内で賄う体制整備として、原料として適した真竹を生育するための竹林整備を実施  ①道具費、材料費、講師謝金	699	559	技術習得した工程の技術力向上に加え、蛇の目傘や傘骨製作を地域で行えるよう、3年間に渡り担い手育成講座を開催した。担い手の募集とともに、阿島傘のPRイベントを積極的に開催し、認知度の向上にも取り組まれることを期待する。
52	遠山郷お試し住宅整備事業	南信濃まちづくり委員会(飯田市)	移住・定住の促進を目的として、空き家をお試し住宅として改修し、移住希望者が中期滞在できる環境を整備。 ・旧木沢小学校近隣の空き家(旧木沢駐在所)を改修するとともに、テレワークができるよう通信環境を整備 ・お試し住宅を利用する前段としてゲストハウスを活用した移住相談を実施 ・飯田市や地域おこし協力隊と連携して移住希望者へ情報を発信  ①家電等 ②エアコン、冷蔵庫、ネット環境整備、施設改修工事	1,486	1,126	空き家の改修により、移住者の滞在施設を確保した。今後積極的に活用されるとともに、移住者やつながり人口の増加のきっかけとなるよう、地域のPRに取り組まれることを期待する。
53	伊那大島駅開業100周年記念事業	伊那大島駅開業100周年記念事業実行委員会(松川町)	JR飯田線 上片桐駅、伊那大島駅の開業100周年を記念し、イベントを開催する。 ・町の文化祭Iに合わせ、プレイベントとして、駅開業当時の写真や鉄道・リアアの模型等の展示、子供が遊べるブラレールの設置を中央公民館で3日間実施 ・メインイベントとして、秘境駅をめぐる記念列車を運行 ・小中学生を対象とした鉄道絵画コンテストを開催し、プレイベント時に表彰するとともに、応募作品を記念列車内へ掲示 ・次年度以降は実行委員会の名称を変更し、駅活性化につながる活動を引き続き行う予定  ①記念列車貸切料、ノベルティ、広報費等	1,123	735	JR飯田線 上片桐駅、伊那大島駅の開業100周年を記念し、イベント・秘境駅をめぐる記念列車を運行した。今後も駅活性化につながる活動を継続し、利用者数の増加に繋がることを期待する。
54	地域交通バス利用推進事業	根羽村	阿智村、平谷村、根羽村が運行する西部コミュニティバスの利用者の増加及び地域外へのPRを目的として、ラッピングバスを運行した。 ・三村の小・中学生及び一般を対象に、各村のおすすみたいものや紹介したいものをテーマにラッピング案を募集し、選考委員会で案を決定。 ・ラッピングされたバスを利用して乗り方教室を実施し、利用促進を図った。  ①ラッピング費用	803	255	西部地域の魅力向上を図るため、ラッピングバスを運行した。継続的にPRするとともに、バス利用頻度の向上に向けた事業にも取り組まれることを期待する。
55	おきよめの湯および周辺の魅力発信発信事業	天龍村	おきよめの湯を中心とした観光振興の一環として、地域住民らとともにPR動画の作成などを行った。 ・PR動画の作成 ・お深め祭りのメンバーによる演舞の練習 ・演者による奉納演奏会 ・お深め祭りの開催 ・PR動画の公式YouTubeチャンネルへの公開  ①動画制作等委託料	3,000	2,250	おきよめの湯を中心とした観光振興の一環として、地域住民らとともにPR動画の作成し、YouTubeへ公開した。PR動画を見てもらえるよう、情報発信の仕方を継続的に検討・改良していくことを期待する。
56	つながり人口創出事業「天龍つなぐカレッジ」	天龍村	今までの移住定住事業で獲得した都市部の人材に関わってもらい、村及びその近隣地域の住民との交流事業を行った。2年目 ・プログラム案の検討 ・天龍つなぐカレッジの説明会を開催 ・天龍つなぐカレッジを11月に開催し、フィールドワークを実施 ・開催後、情報交換・フォローアップを実施するとともに、継続的な地域活動への参加を促した  ①協力者謝金、全体コーディネーター・集客等委託費用	1,680	1,344	今までの移住定住事業で獲得した都市部の人材に関わってもらい、村及びその近隣地域の住民との交流事業「天龍つなぐカレッジ」を開催し、フィールドワークを実施。「つながり人口」に着眼した取組は先駆的であり、今後の積極的な事業展開に期待する。
57	「トヨオカフルーツエール」開発・普及・PR事業	豊丘村	令和元年度に開発した桃のフルーツエール(果実を使用した発泡酒)に加え、りんごを使用したフルーツエールを新たに開発し、普及・PRに取り組む。3年目 ・桃のフルーツエール解禁イベント(豊丘オクトーバーフェスト)を開催し、フルーツエール及び近隣町村のシールド等を提供、販売 ・りんごのフルーツエールの解禁イベントを開催し、村内のりんご加工品(シールド、ジュース、ジャム等)とあわせてPR ・ふるさと納税の返礼品として都市部住民へ提供  ①チラシ・ポスター、パンフレット、ラベルデザイン等	395	315	3年間に渡り、フルーツエールの開発・普及に取り組んだ。今後、PR・改良を重ね、地域の特産品として知名度が向上していくことを期待する。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
58	移住人口増加に向けた南信州広域連携事業	南信州広域連合	南信州14市町村が広域的に連携し、人口減少対策としての移住定住促進を目的とした事業を実施した。 ・オンライン移住セミナーを7/27と11/21に、オンラインツアーを10/3、3/6に開催 ・SNSや動画サイトを通じて南信州地域の魅力を伝えるため、今年度行ったセミナーの動画を公式Youtubeに配信し、情報発信を強化 ・移住パンフレット制作  ①セミナー出演者謝礼、動画制作費、パンフレット制作費等	627	501	コロナ禍での移住促進に向け、オンラインでの移住セミナーを行うとともに、SNSや公式YouTubeなどの情報発信に取り組んだ。南信州地域の知名度向上に向け、つながり人口など、新たな視点での取組に期待する。
59	リニア時代に向けて北部5町村と地域が一体となつてつくるまちづくり事業	下伊那北部総合事務組合	リニア開業を見据え、広域観光、移住定住、二次交通等の諸課題に、下伊那北部5町村が連携して取り組んでいくために必要な資料整備や課題の検討を行う。2年目・飯田市のリニア駅周辺から北部5町村までの土地利用を把握できる基礎資料(広域地図・拡大版広域地図)とする。 ・令和2年度に実施した講演会、シンポジウムの内容を踏まえ、リニア3回の街づくり座談会を開催し、リニアを見据えたまちづくり構想(案)をとりまとめた。  ①地図作成費(広域地図作成・拡大版広域地図作成)	427	320	下伊那北部5町村が連携してシンポジウムを開催するなど、リニア開業を見据えた地域づくりの機運を醸成した。引き続き、積極的に活動を展開することを期待する。
60	味覚センサーを活用したシードル味わいマップの作成	南信州シードル協議会(松川町)	南信州地域で醸造されている多種多様なシードルを、消費者が自身の好みにマッチしたものを選択できるようにするとともに、販売店などでの商品説明の際に活用できるよう、味覚センサーによる分析を行い、その結果を基に味わいマップを作成した。味わいマップには、市内飲食店のシェフに依頼し提案してもらったシードルに合う料理を掲載した。また、飲食店や酒販店などを対象にし、味の評価や合う料理などについてオンラインセミナーを開催した。  ①味覚センサー分析費、マップ制作費、料理提案謝金、セミナー講師謝金	464	364	多種多様なシードルを、一覧として図面に落とすとともに、消費者が自身の好みの味を見つけることができるようになった。マップを活用し、地域内外に広くシードルの魅力をPRする活動に取り組むことを期待する。
61	猿倉の泉おもてなし事業	羽場まちづくり委員会 猿倉の泉愛護会(飯田市)	子供たちや地域の住民に日本の名水百選に選ばれた「猿倉の泉」に親しんでもらうため、泉までの登山道を子どもから高齢者まで利用しやすいように再整備した。 ・腐食が進む登山道の木製土留・階段について、擬木製に変更して再整備(1回目:5/10～5/19、2回目:11/14～12/3) ・整備作業は、専門業者の指導の下、地域住民と一緒に作業に取り組んだ。1回目は20人、2回目は32人の住民が参加した。 ・小中学生に猿倉の泉に親しんでもらうため、泉の水での野点体験を実施した(7/29、9/24)  ①登山道入り口の看板設置、小学生の野点体験 ②土留・階段 材料購入及び工事	2,798	2,103	猿倉の泉までの遊歩道の整備を地域住民の手により行い、利用しやすとした。整備した遊歩道と泉を積極的に活用し、地域の憩いの場として長く活用されることを期待する。
62	シェア・ザ・ロード教育プロジェクト	豊丘村	自転車、歩行者、自動車がお互いに「道路をシェア」するという意識を子どもたちに身に付けてもらうとともに、自転車に乗る楽しさを体験してもらうための事業を実施した。 ・元プロロードレーサーの福島晋一氏を講師に招き、子ども用のキックバイク・スポーツバイクを使用した自転車教室を村内の子どもたちを対象に開催した(3月6日、3月13日)。 ・自転車教室のため、子ども用のキックバイク・スポーツバイクを整備  ①自転車教室で使用する子ども用キックバイク・スポーツバイクの購入、講師謝礼	1,268	951	自転車、歩行者、自動車がお互いに「道路をシェア」する考え方を子ども達に身に付けてもらうとともに、自転車に乗る楽しさを体験してもらうための事業を実施した。子ども達のみならず、地域に広く啓発活動を展開されることを期待する。
63	歴史人物漫画で知る ふるさと伊那谷	高森町	高森町出身で近代日本経済の礎を築いた「今村 清之助」を通して、ふるさとに愛着を持ち貢献できる人材を育成するため、以下の事業を行った。 ・伝記漫画の作成 ・町在住の漫画作家と地域住民との交流 ・作成した漫画のキャリア教育での活用  ①作家謝礼、書籍作成費	2,233	1,786	高森町出身で近代日本経済の礎を築いた「今村 清之助」を通して、ふるさとに愛着を持ち貢献できる人材を育成するための事業を実施した。継続的な地域での学習活動を期待する。
64	高齢や障害(個人的な生きづらさ)を持っている方々の外出のためのインフォーマルサービス創出事業	南信州おでかけチーム「ウィズ」(飯田市)	高齢者や障害者等の外出支援サービスを南信州地域に広げるため、次の事業を実施した。 ・介護事業者に向けた外出支援サービス研修会(7/17) ・外出支援サービスの情報発信や相談窓口となるホームページの開設 ・希望者への外出支援モニターツアー(11/3) ・装着式の牽引装置と牽引式車いすの無料貸出体制の構築  ①研修会開催(会場、チラシ、講師謝礼)、HP作成、モニターツアー実施、装着式の牽引装置の購入 ②牽引式車椅子の購入	1,104	875	外出が難しい高齢者や障害者であっても、工夫や助力があれば外出ができる考え方を地域に広める取組を行った。より多くの人に外出を楽しんでもらえるよう、継続的な取組を期待する。
65	米川古道の魅力再発見プロジェクト	米川区(飯田市)	古くから伝わる古道の魅力や文化的景観の価値を後世に伝えていくため、遊歩道の整備やイベントを開催した。三年目事業。 ・6/20にウォーキングイベントを開催(参加者63名)するとともに、ウォーキングコース案内看板を設置 ・地域住民がより楽しんで遊歩道を利用できるよう、11/3に地域住民23人で景観整備を実施(花木の植栽・整備)  ①ウォーキングイベントの開催、遊歩道景観整備(花木の植栽) ②ウォーキングコース案内看板の作成及び設置	1,870	1,384	米川沿いの古道を、地域住民が親しみやすい古道に整備した。長く地域の憩いの場として活用できるよう、地域住民による継続的な維持管理を期待する。
66	南信州芸能応援祭	しなの大和(飯田市)	令和4年3月13日に地域活性化を目的とした「南信州芸能応援祭」の開催に向け、PRビデオ・チラシ作成等準備をしていたが、年明けの新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、集客イベントの実施は困難と判断し、中止。  ①PRビデオ・チラシ作成	220	176	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中止とせざるを得なかったが、地域住民とともに事業を構築してきた点は評価できる。改めて開催に向けて取り組むことを期待する。